
忍冬の雪

暁 千歳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

忍冬の雪

【Nコード】

N2888B

【作者名】

暁 千歳

【あらすじ】

一人の少女、鈴蘭は様々な運命に直面して大きくなっていく。そして出会った運命の相手と……！？

ブローグ

——綺麗……

白い雪が、ひらひらと舞いながら落ちてくる。
その中の一つが彼の頬にポツツと落ちた。

「今年も………」

頬の雪が溶け、つうつと頬を伝った。

——綺麗な雪ですね。

「綺麗な雪ですよ。鈴蘭………」

——積もりますか？

「そうですね。積もると……いいですね。」

彼はゆっくり目を閉じる。

目を閉じて浮かぶものは——

霞草く清らかな心、切なる願いく

「……………蘭？…鈴蘭？」

優しい男の人の声に鈴蘭の意識は浮上していく。

「……………？…ひい様……………？」

ひい様……………峰崎 燈乃は優しい笑顔で頷く。

「そうだよ。ねえ、鈴蘭。昨日言っただよね？俺を起こしてって」

いつもと違う言い方。

その優しい声に安心感と共に強い悪寒を覚え、鈴蘭は急いで飛び起きる。

それから直ぐに部屋にある時計を見て悲鳴を上げた。

「もっもう8時？！ご…ごめんなさ

「言い訳は聞きたくないです。学校に遅刻しますよ？起きて下さい。」

「

燈乃は鈴蘭の謝罪をきっぱりとした口調で遮った。

声がいっつも様に冷たい声へと変わる。

口元は笑っているが、目は笑っていない表情は……………相当怖い。

やばい。本気で怒っている。

鈴蘭は彼の表情を見て真っ青になった。

「ほんとに！ほんとおにごめんなさい！許して下さい！昨日……雷が酷くて寝れなくて……」

ふいっと、叱られた子供の様にしよげた様子で視線を外す鈴蘭を見て、燈乃は思わず溜め息をついた。

「子供じゃないんですから」

まったく。と苦笑を浮かべつつ燈乃は鈴蘭の腕を取り立ち上がらせる。

「早くしないと置いていきますよ？」

と立たせた鈴蘭に向かって早口で述べると、燈乃は部屋を出て行った。

それを見送ると鈴蘭は小さく溜め息を吐く。

「……………お母さん……………」

母が死んだのは一昨年の夏。

大きな雷と豪雨の日だった。

家庭は、母は金持ちの妾だった為に、生活はそれなりに裕福だった。

母は精一杯愛情を注いでくれていたし、遊び相手に困った事もない。

しかし、幼い鈴蘭にも悩みの一つや二つはあった。

それは、父は鈴蘭に親としての愛情を、欠片見せたことがなかった事だ。

母が亡くなって数年、父の元で暮らしていたが、やはり愛人の子供。と言うことで必ずしも歓迎されていた訳ではなかった。

父親は、家族の事、鈴蘭の事を考えて知り合いに紹介してくれた。勿論、鈴蘭を全面的に養う事は出来ないので、『奉公』という形だ。

来たところが良かったのか、主は家事に専念させる事もなく、燈乃が通っている学校へ通わせてくれている。

年齢が近いからか、鈴蘭の仕事は、燈乃の身の周りの世話だ。

失敗も度々するが、何かと充実した日々だと言えるだろう。

でも……

雷が鳴るたびに思い出す。

一人になる孤独感。

一人になる怖さ。

一人になる悲しさ。

一人になる絶望。

「お母さん……」

泣きそつになる頬にパシッ^ッと叩き、鈴蘭は着物を着た。
手慣れた手付きで帯を締め、襖^{フスマ}を開けて部屋を出る。

部屋の外の柱には、すっかり制服に着替え終わった燈乃が立っていた。

「鈴蘭、寝坊した罰です。ご飯を食べている暇がないので今日は抜きです」

そう言つとまたニッコリ。

まだ、起こさなかった事を怒っているようだ。

「はい」

朝ご飯を食べる元気がなかったので、鈴蘭は大人しく頷く事にした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2888b/>

忍冬の雪

2011年1月26日02時25分発行